

市長コメント

- ・天守閣の耐震性能や名古屋の経済発展のことを考えますと、一日でも早く天守閣の木造復元を実現してまいりたいというのが私の偽りのない気持ちでございます。
- ・先般、委員会の方から、収支見込の第三者機関による調査や、石垣の安全性の確保、上限 505 億円の事業費の妥当性の調査など、数点にわたり課題を指摘されました。
- ・こうした課題に対応するためには、例えば、収支見込の第三者機関による調査につきましては、来場意向調査やリニア中央新幹線の開業の影響などの要因を多角的にとらえ、分析することが必要であり、くわえて、石垣の安全性の確保については、熊本地震を受けて、更なる調査を実施することが必要であり、本市といたしましてはある程度時間をかけて実施してまいりたいと判断し、2020 年 7 月の完成期限を見直したいと存じます。
- ・具体的には、概ね 2 年延長することで、完成期限を 2022 年 7 月を目途とし、今後、竹中工務店と協議をし、実施してまいりたいと存じます。
- ・この完成期限については、今後、竹中工務店に責めに帰すことでない事由により遅れが生じるような場合も想定されますが、その際には、本市と協議のうえ、完成期限を見直すことがあることについてご理解をいただきたいと存じます。
- ・なお、今回の見直しにつきましては、弁護士からは、法的に問題なく、第三者に対しても対応できるとの見解をいただいております。本市といたしましても、同様に考えているものであります。
- ・また、事業費の減額につきましても、設計を進めていく中で対応してまいりたいと考えております。
- ・これは、これまでの議会での審議や 2 万人アンケートの結果に耳を傾けると言ったことに対する私の気持ちでございます。
- ・今後とも、議会と手を携えながら、当該事業を進めていきたいと考えておりますので、ご協力をお願いします。よろしくをお願いします。